

第 81 回院内集会(4 月 18 日) シリーズ講演<原発事故被災県福島復興パートⅡ 福島復興の担い手たち> ①

## 「<sup>ゆき</sup>いたて<sup>こ</sup>雪っ娘」とわたし

渡邊とみ子



2019 年度初めの院内集会は講師に飯舘村の渡邊とみ子/元「**かーちゃんのカプロジェクト協議会**」会長をお招きして定例の木曜日、4 月 18 日 11-13 時に開催しました。新しい講演シリーズ、<原発事故被災県福島復興パートⅡ 福島復興の担

い手たち> の一回目です。ご自分で用意されたスライドを映写しながら、あらゆる苦労にもあきらめずに事業を続けてこられたこれまでの活動を熱を込めて話されました。その要点は以下の通りです。

「1993 年に飯舘村第四次総合振興計画の地区別計画委員に就任。地域の女性リーダーの育成に取り組み、2005 年には【**イータテベイクじゃがいも研究会**】の会長として、飯舘村オリジナル品種<いたて雪っ娘>と<イータテベイク>の商品開発を行った」

「東日本大震災/原発事故で避難した後は【**かーちゃんのカ・プロジェクト協議会**】会長として松川にあぶくま茶屋を開き、国・県の基準より厳しい放射線量を決めて安全・安全な食品を週に九品作り、製造・販売してきた。この茶屋

の入口に置かれていた囲炉裏は夫が制作してお客さんを迎え入れていた。その夫が亡くなったいまは、トラクターの運転も自分でしている。」

「2017 年 4 月の避難解除以降は。本業の【**までい工房美彩恋人**】【**いたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト協議会**】の活動で全国を飛び回り、雪っ娘かぼちゃの普及と、このかぼちゃを素材にした商品開発・販売に力を注いでいる。」



写真:避難翌年に収穫を手伝ってくれた仲間たち。右から 2 番目がとみ子さん。3番目が最愛の夫。2012 年 10 月 13 日撮影。

\*\*\*\*\*

【5月院内集会】 毎回貴重な情報、経験が語られています。友人、知人をお誘いの上、奮ってご参加下さい。

- 日時:5 月 23 日 11-13 時
- 会場:参議院議員会館地下一階 B101 号室
- 講師:里見喜生(さとみ よしお)さん 福島県湯本温泉の老舗旅館「古滝屋」代表取締役
- 講演題:<『未来作り業』をめざして>

## 日々思うこと

広島 田河内 康輔

地震と津波を起因とする福島原発事故が発生して、それから丸8年を過ぎてしまった。現場や該当する地域での緊迫した様子を感じながらも、何もできない自分をここに自覚する。爆発事故当時はまだ体力にも自信があったように思う。しかしながら、七十の半ば近くになると若者の代わりに被曝でも何でも来いという意気込みがなく、やせ我慢になってしまいそうだ。若者に不要な被曝をさせるわけにはいかぬというリタイアした人の叫びの声がこの会に結集したわけだが、特に地方にいる者にとって何もできずに時を経たように思える。

さて、新聞やテレビ上で騒いでいるニュースがある。世界貿易機関(WTO)の上級委員会で韓国政府の提訴による東日本の8県の水産物の輸入禁止措置がSPS協定に違反していないというものだったからだ。そして韓国政府は禁輸措置を続けるというのだ。久しぶりに経済産業省のホームページを覗いてみると日本政府の相変わらずの「原発安全神話」がお決まりの調子で埋め尽くされている。私の記憶によると通常の農産物の放射能の値が原発事故による緊急措置として「100ベクレル」以下に変更され、数百倍になったと記憶している。それ以来、緊急措置が変更・撤回されていないと思えるから規制値がそのままということなのであろう。「韓国

による輸入制限措置が恣意的差別に該当せず不当な貿易制限でもない」というWTOの判断は、日本政府・電力会社を脅かし強くその撤回を迫っている。日本政府の緊急の「規制値」がそれなりの蓋然性があると仮定しても、その強弁の主張は世界の常識として「NO」とWTOは判断したのだ。日本政府や電力会社の主張は、世界の常識ではないということだ。

しかし、日本政府や電力会社の主張は問題外としても、農漁民の公表値が「ND」(データ無し)であることの意味と「風評被害」という問題を考えざるをえない。自然から放出されたり宇宙から降り注ぐ放射能は不可抗力として、人為的被曝は極力避けるという選択が必要であるというのが私の意見なのだ。「ND」という値がこの自然放射能の値より高いか低いかが問題になると思う。「人為的被曝は生き抜いてきた老人が引き受け、若者や子供には最小限の被曝を目指す」ということだ。放射能に汚染された農産物や魚介類は老人が率先して食べ、若者や子供には食べさせないということだ。測定値が自然放射能の値であり、政府の規制値より高いか低いかではなく、また、公表値が「ND」ということではないのだ。

\*\*\*\*\*

### ◎連絡会議にご参加ください

事務連絡やプロジェクト事業の進捗確認などのため、毎週1回、午前10時30分から一時間余、東京・神田淡路町の事務所で会議を行っています。福島原発行動隊メンバーなら、どなたでもご参加いただけます。多くの方々の参加をお待ちしています。

#### ●年次総会:

6月28日(金曜日)。役員人事、2018年度事業報告/決算。

#### ●院内集会:

【5月】23日(木曜)11-13時

【6月】20日(木曜)または27日(同)。

#### ●連絡会議:

【5月】10日(金曜)、17日(同)、24日(同)。

【6月】7日(金曜)、14日(同)、21日(同)、28日(同)。

